

# 「木造建築の未来」

8月27日(金)

14:00~17:00

受講料：無料(要事前申し込み)

定員：52名

(感染予防対策のため変更調整の可能性あり)

会場：トレンドビル B室

(仙台市青葉区一番町4丁目4-33)



全世界が取り組まなくてはならない、ゼロカーボン達成の一翼を担う木材の活用。

今後、森林大国である日本の木造建築の未来へどうアプローチしていくか？

2019年内閣総理大臣賞受賞の「屋久島町庁舎」をご担当された武田光史氏に、これまでの設計事例と今後の木造建築の可能性を、事例からお話頂くまとまりたい機会です。



講師：武田 光史

1996年早稲田大学大学院修士課程修了、アルセッド建築研究所入所。木造建築・木造建築に関する研究開発・コンサルタント・設計・監理に従事。富山、山古志、十津川等における地域に根ざした住まいづくり、会津、屋久島、阿蘇等における地域材を活用した中大規模木造に取り組む。東北地方においても、山形県の「金山杉住宅を作る会」の運営委員に所属し地域木材の活用促進に取り組む。十津川村の復興住宅では「復興設計賞」他多数受賞。2019年屋久島町庁舎設計で内閣総理大臣賞受賞、ウッドデザイン賞ほか多数受賞。

◆ 第1部 14:00 ~ 15:00

アルセッド建築研究所 武田 光史氏

「中大規模木造建築の未来～屋久島町庁舎」

◆ 第2部 15:10 ~ 15:40

(株) イケダコーポレーション

「木材の耐候性を高める」 田中 亮

「断熱の未来—木質断熱材とは？」 藤澤 迪央

ドイツから始まる高耐候性木部塗料と木繊維断熱

◆ 第3部 15:50 ~ 16:50

アルセッド建築研究所 武田 光史氏

「地域に根差した住まいによる復興～十津川村の事例～」

## 木造公共建築講座 (中大規模中級編)

お申し込み FAXまたはWEBサイトからお申し込みください | FAX: 0229-87-4436

御社名		参加者	
TEL		Email	

